

■花と緑のワークショップ（意見のまとめ）

【 3班全体の意見（内容） 】

■ 1. コミュニティ花壇の「場所、大きさ、形状」など

- 花壇の位置や大きさ、レイアウトなどは、プロ（専門家）で考えた方が良い。
- 最初に区分けする花壇は、小さく区画した方が良い（最初から大規模にせず、徐々に大きく）。
- 管理する者（団体）の看板を作って、管理してもらう。
- 道路側には、概ね1年中咲くバラが良い（子供が手を触れないように対策は必要）。
- 花壇はある程度“入口に近い場所”に設けた方が良い。
- 「東側の庭」、「北側広場」を“コミュニティ花壇”にしてはどうか。
- “コミュニティ花壇”は、別の場所が良いのではないか。（現在計画中の外構は全て町が管理）
- 青葉山から石を切り出して、青葉山コーナーを作ってはどうか。
- 水を流したり、池を作ったりしてはどうか。

■ 2. 管理する対象者・団体、グループ。花壇の使い方、ルールなど

- 手入れしやすい花壇が良い
- プロ（専門家）にも管理してほしい。
- 築山を作って管理してはどうか。（例えば、“和風”と“洋風”に分けて植栽してはどうか）
- いつでも関わってもらえるように、花が好きな団体・やりたいグループを募ってはどうか。（「京都府立植物園」の「ボランティア登録」のように、いつでも好きな時に係れるシステムの検討）
- “日替わり”、“月替わり”での「管理」、「色々な団体」による「管理」を検討してほしい。
- 管理を任される者（団体）が、プレッシャーにならないようにしてほしい
- 管理には運営費、報酬などを出してはどうか。（その代り、責任として名前を出す）

■ 3. 花壇に植える花木（ハマナス、バラ、オオキンレイカ、季節の花木など）

- 管理も含め、花木にするのか、花壇にするのか、考えた方が良い。
- 和風に合った“花壇（花）”を考えてはどうか。
- 季節毎の花を植え替えてはどうか。
- バラをメインに、四季の花を植えてはどうか。
- ハマナスは、風通しの良い、付替え大西線沿いの花壇が良いのではないか。
※「ハマナス」はトゲがあるので、別個に育てた方が良い。
- “町花”の「ハマナス」、「町木」の「杜仲」は、花壇にあった方が良い。
- 「北側の広場」には、日陰でも育つ植物を植えた方が良い。
- 「オオキンレイカ」はコミュニティ花壇で育てないで、公民館事業で進めた方が良い。
（※岩肌に適した植物として、外にイブキジャコウソウ、オオバキボウシ、イワヒバなど）

■ 4.どんな花壇にしたい、どんなものが必要か…

- 子ども、老人が触れる、集まれる場所（花壇）にした方が良い。
- 花壇の中からも見て楽しめる園路を設けてはどうか。
- 季節感が感じられ、町民に親しみを持ってもらえる花壇が良いのではないか。
- 高浜町に咲く草花を、町民はあまり知らないようなので、紹介も含めて“山野草”を植えてはどうか。
（: キクザキイチゲ、イカリソウ、フタバアオイ、チゴユリ、ハウチャクソウ、 : ニワゼキショウ、ホタルブクロ、オオキンレイカ、ヨメナ、 : 彼岸花、ゲンノショウコ、ネジバナなど）
- 自然な感じで花が咲いて、且つ、みんなが興味を持てる花壇にしたい。
- 中が見えないように高低差を設けるなどして、また、見やすい花壇にしてほしい。
- 侵入禁止柵の設置を検討してほしい
- 水やりの設備、作業小屋なども検討してほしい。
- 管理が不要な花壇

【 その他（自由意見） 】

- 花壇に植える花は、色のバランスも考えて植えた方が良い。
- 外構だけでなく、庁舎内の観葉植物の管理もやりたい。（屋外のほか、屋内での緑化・花の景観づくり）
（屋内緑化などに取り組みたいグループ、団体もある）
- 花・花壇の管理は、役場職員にも同じ知識が無いと枯らしてしまう。（役場職員も知識を付けてほしい）
- 担当者の配置を検討してほしい。（責任ある対応、予算要望をお願いしたい）
- 公民館事業にも繋がるので、教育委員会との連携をお願いしたい。
- （新設の町道大西線について）桜の花見ができるような道にしてほしい。
- 高浜地区以外の人でも花壇の管理が出来る方法を考えてほしい。